

第27回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ サブリーダー 渡邊 由美

2019年9月13日(金)、日本橋社会教育会館(東京都中央区)にて「第27回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本発表会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年1回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。今年も27回目の開催となり、国土交通省や自治体関係者、学識者、民間コンサルタントの関係者、ならびに当研究所のOB・OG等、180名あまりの方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

発表会には、東京大学大学院工学系研究科の知花武佳准教授をお招きし、「階層的に捉える河相と流域景観～地殻変動から粒度まで～」と題してご講演いただき、その後、昨年度当研究所で実施している研究成果から7題の発表を行いました。

今回の発表内容を含めた平成30年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告 第30号」は、当研究所ホームページ「研究所報告」(http://www.rfc.or.jp/rp/report_30.html)に掲載しておりますので、是非ご活用下さい。

皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて、今後も河川に係る諸問題への調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んでいきたいと考えております。



研究発表会の様子

第17回「川の自然再生」セミナー

企画グループ サブリーダー 渡邊 由美

2019年10月29日に開催しました第17回「川の自然再生」セミナーについてご報告します。

「川の自然再生」セミナーは、様々な立場で河川の自然再生や多自然川づくりなどの実務に関わる方々の情報・意識共有、知識の向上、実践技術の取得を目的として、平成15年から毎年1回開催しています。

17回目となる今回も、昨年同様国土交通省と国立研究開発法人土木研究所のご後援のもと、「河川CIMを活かした多自然川づくり」をテーマに開催し、河川事務所による現場における先進的な取組の報告と、土木研究所等の研究機関における最新の研究成果の紹介をいただきました。



セミナーの様子(参加者数129名)

川の自然再生に関わる最新の情勢や皆様のニーズを踏まえ、今後も実用的な情報提供や意見交換ができる場を提供できるよう企画してまいります。

今回ご講演いただいた講師の方々にご参加された皆様にご場をお借りして厚くお礼申し上げます。

なお、講演資料は、当研究所のホームページの「開催行事概要」に掲載しておりますので、ご活用ください。(<http://www.rfc.or.jp/ivent2019.html>)

【プログラム】(会場:月島社会教育会館)

- 講演1 河川環境行政の動向とCIMへの期待
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 企画専門官 梶井 正将
- 講演2 河川CIMで進化する多自然川づくり
国立研究開発法人土木研究所 水環境研究グループ
河川生態チーム 上席研究員 中村 圭吾
- 講演3 VR技術を活用した川づくりと今後の展望について
九州地方整備局 九州技術事務所 技術情報管理官 植西 清
- 講演4 CIMを活用した景勝地における河道掘削について
株式会社川原建設 工務第二課 副主任 田本 哲也
- 講演5 河川事業におけるCIMの動向
八千代エンジニアリング株式会社 技術管理本部
CIM推進室長 山本 一浩
- 講演6 3次元の多自然川づくり支援ツール(iRIC-EvaTRiP & RiTER)
国立研究開発法人土木研究所 自然共生研究センター
専門研究員 大槻 順朗
- 講演7 河川管理における河川CIM活用の検討について
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室
課長補佐 西尾 正博